

第 56 回建築士会全国大会しまね大会紹介

1) 島根の社寺建築 5 石見の神社

島根の神社に限らないですが、パワースポットなどというおまけもついて、このところ神社は一種のブームを迎えています。参詣客はパワースポットの誉れ高いほど多く、それも若い女性が多いという現象が起きています。



物部神社(大田市川合)

特に縁結びの御利益が付けばさらに人気は増し

てきます。実は縁結びと縁切りは裏腹でして、出雲大社にも廻り方を間違えると縁切りになるとか、松江の田中神社に行くと縁結びの



物部神社拝殿



物部神社本殿

社の背中あわせに縁切りの社があるという親切な配置になっています。

ここで紹介するのは島根の西部石見地方の神社です。石見にも由緒と歴史を山ほど背負った神社が幾つかあります。時間が



太鼓谷稲荷



許せば是非訪ねて行ってもらいたいところです。大田市は島根のほぼ中間にあり大森銀山にも近いところですが、石見国一宮でもある物部神社があります。本殿はかなり大きな春日造りです。妻入りで大社造りのようですが、向背と大屋根



が一体になって創建は 513 年ですが現社殿 太鼓谷稲荷の参道
は 1753 年のものです。

太鼓谷稲荷神社は津和野町にあります。正月の初詣客は出雲大社といつも争っています。日本五台稲荷の一つに数えられているということですが、津和野の町を上から眺めるように急峻な山の上に建っています。赤い鳥居が参道に並び赤のトンネルを作っています。創建は江戸時代で津和野藩主亀井矩貞が伏見稲荷に勧請し旧津和野城の表鬼門に当たる太鼓谷の峰に建てたものです。本殿は安政 3 年(1856)に建てられたものです。